記者発表資料

令和８年９月15日
酒田河川国道事務所
山形県
庄内町・戸沢村

《新庄酒田道路》

国道47号「戸沢立川道路」工事に本格着手

～11月14日(土)に起工式を行います～

○ 戸沢立川道路は、新庄酒田道路の一部を構成する延長5.8kmの自動車専用道路事業であり、地域間の連携強化、交通の信頼性・安全性向上、救急医療、観光及び物流機能の強化を図るため、令和3年度から事業を実施しております。

○ これまで、調査設計、用地買収等を進めてきましたが、このたび工事に本格着手する運びとなりました。

○ つきましては、工事の安全と早期完成を祈念し、起工式を執り行いますのでお知らせします。

■起工式

日　時　：令和8年11月14日(土)10時00分～

場　所　：山形県東田川郡庄内町肝煎　地内

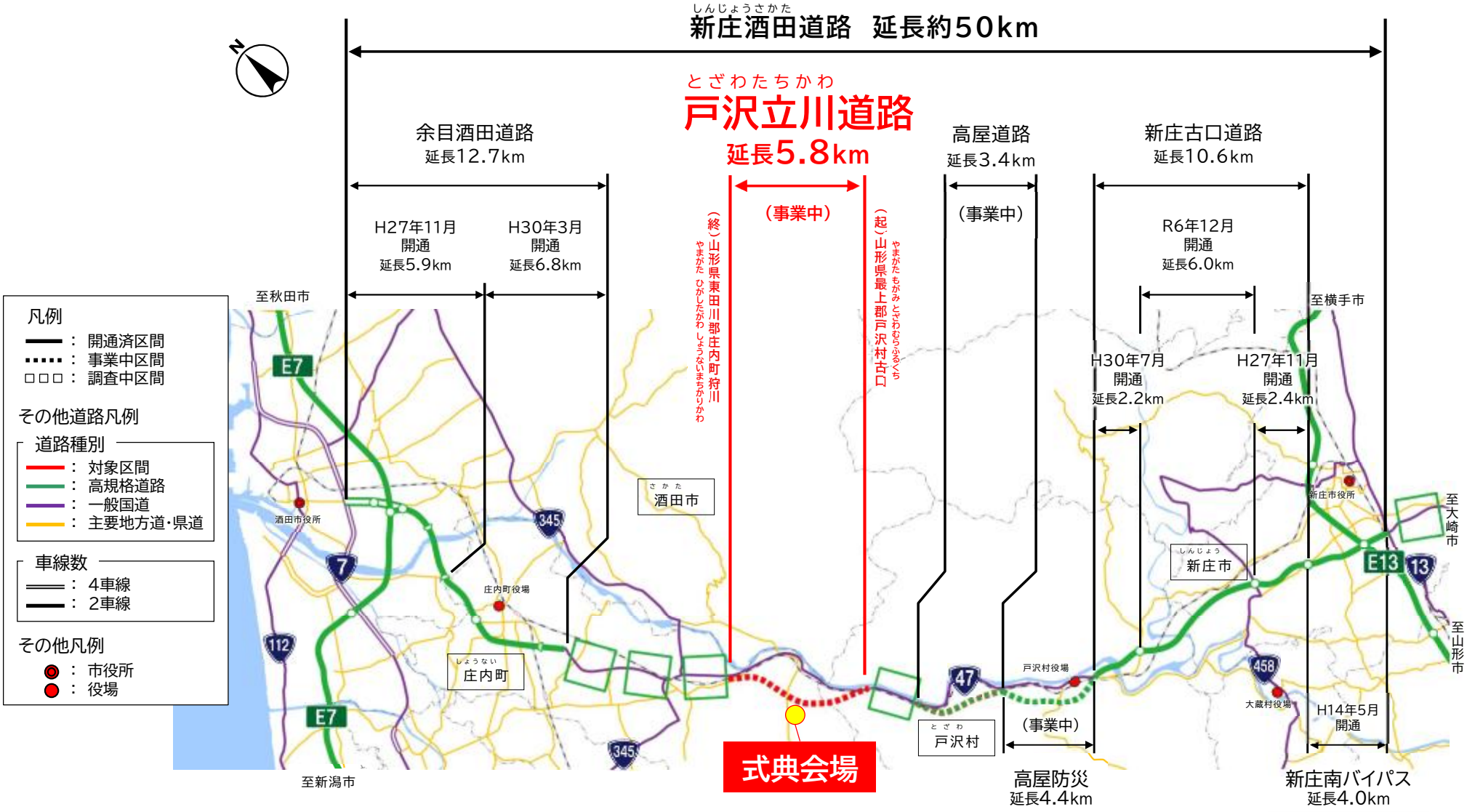
主　催　：山形県、庄内町、戸沢村、国土交通省東北地方整備局

次　第　：挨拶、来賓祝辞、鍬入れ　等

記者発表先：山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、山形建設業界専門紙

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所　電話：0234-27-3331(代表)
副所長(道路担当)　工藤　金充　(内線 205)
工務第二課長　佐藤　巧　(内線 411)

国道47号　戸沢立川道路　位置図

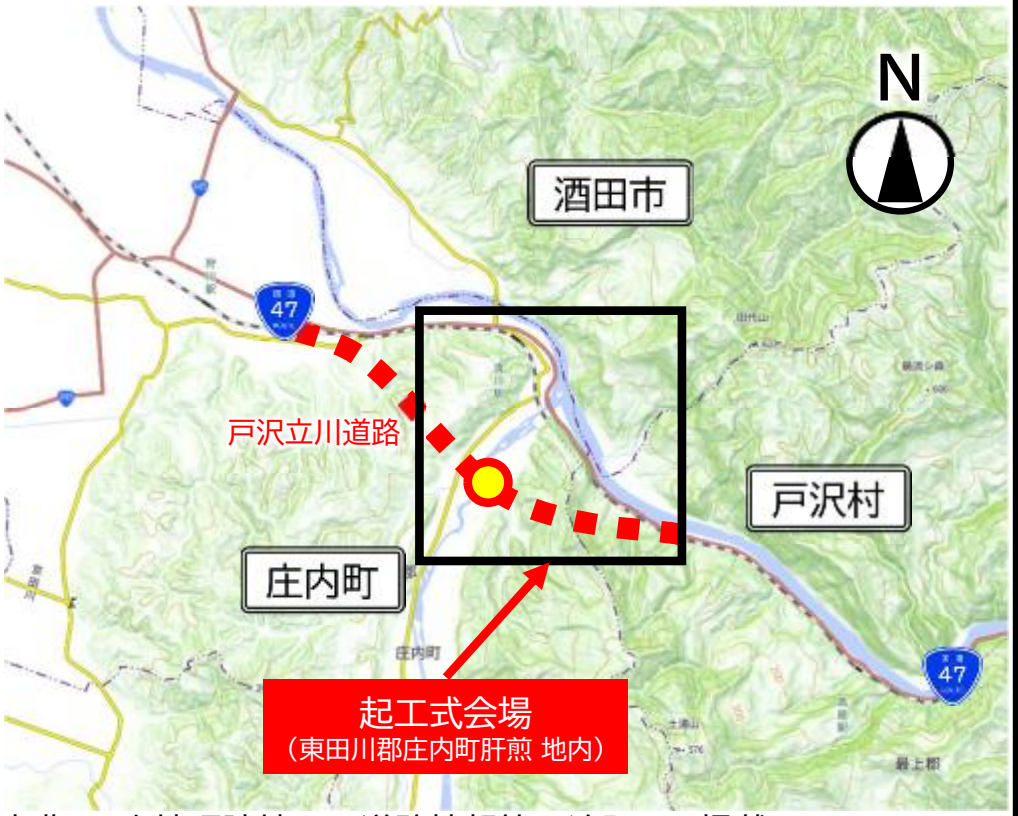


■起工式
1）日時　：令和8年11月14日(土)10時00分～
2）場所　：山形県東田川郡庄内町肝煎　地内
3）主催　：山形県、庄内町、戸沢村、国土交通省東北地方整備局
4）次第　：挨拶、来賓祝辞、鍬入れ　等

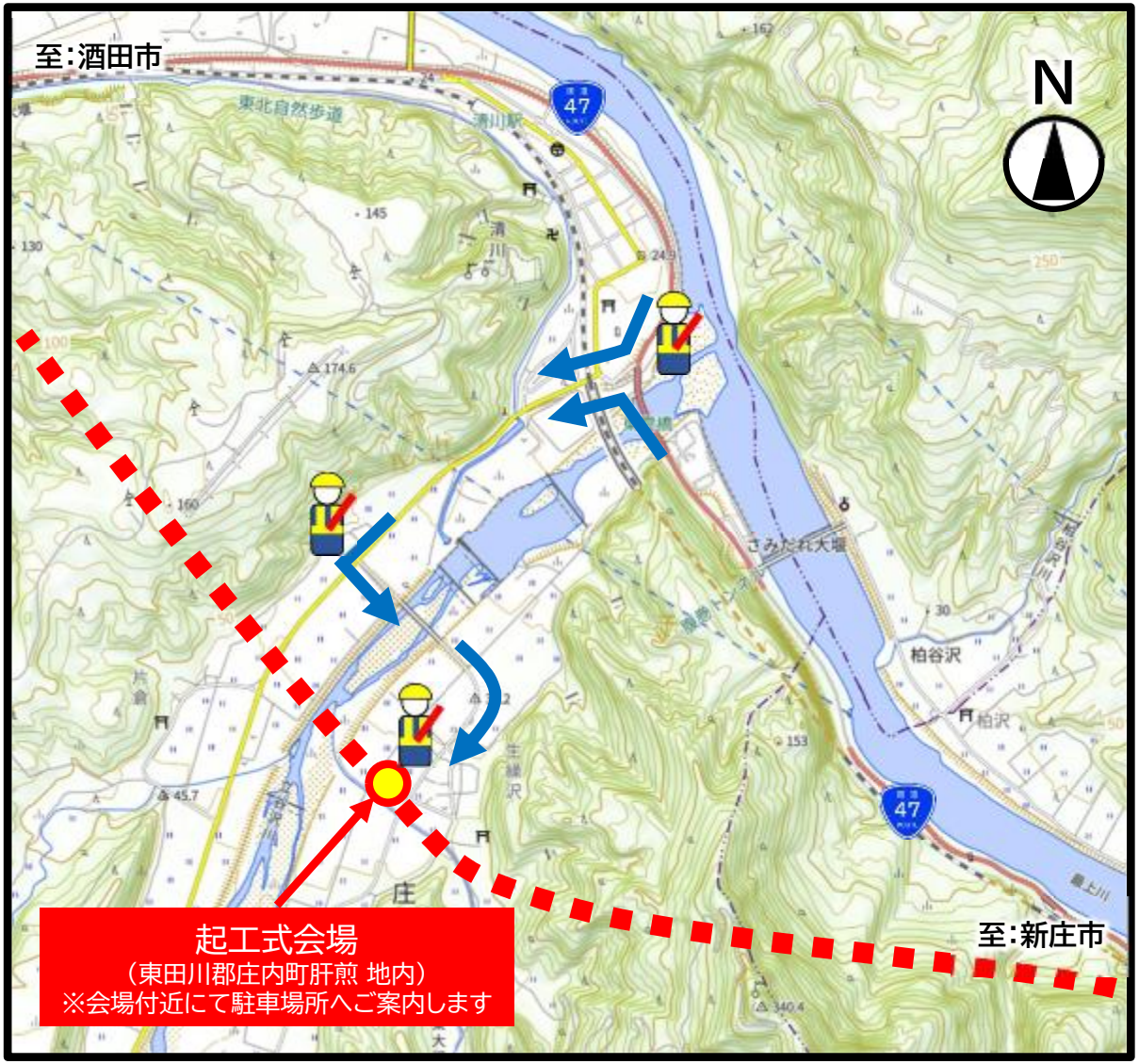
※お車でお越しの報道関係の方は、「別紙－1：起工式会場　案内図」を参照ください。

※報道関係者の方は、別添「取材申込書」による事前申し込みをお願いします。

起工式会場　案内図　別紙－1



出典：国土地理院地図に道路情報等を追記して掲載



出典：国土地理院地図に道路情報等を追記して掲載

※送付票は不要です。
FAX 番号 0234－27－3509
酒田河川国道事務所 総務課 宛

別添

「国道47号 戸沢立川道路 起工式」
取材申込書

標記について、取材を希望される報道機関は、以下に必要事項を記入の上
FAX の送付をお願いします。

FAX 送付期限：11月 6 日(金)17 時まで

1.会 社 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2.ご 氏 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（代表者のみ）

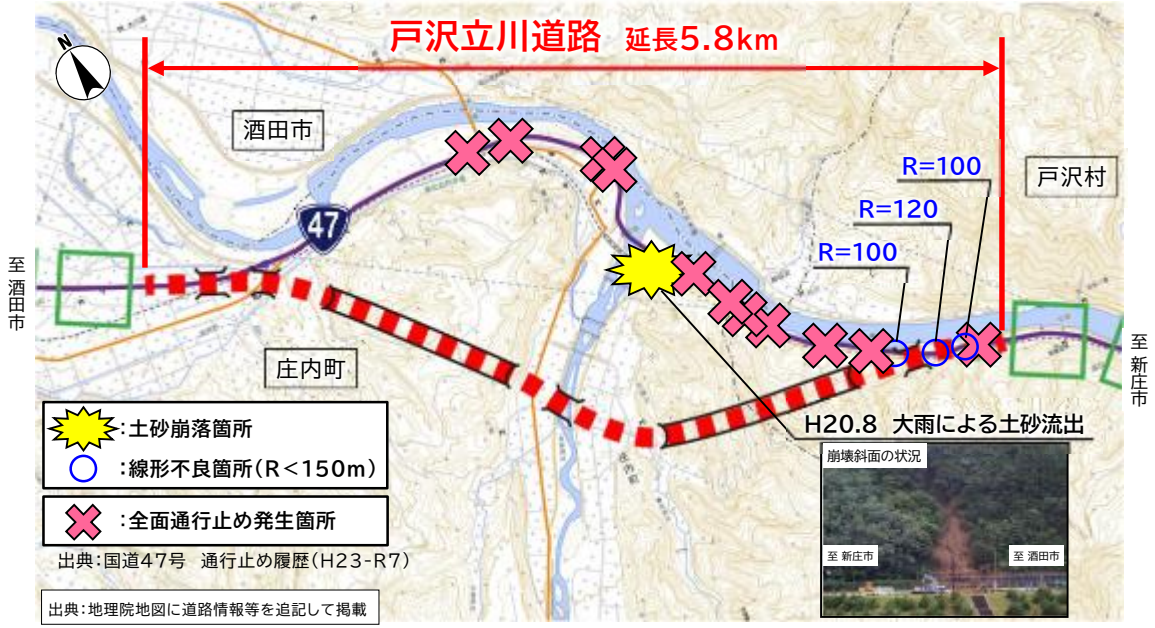
3.連 絡 先 TEL ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
※こちらから連絡させていただく場合があります。
連絡が取れる電話番号をご記入ください。

4.人 数 （代表者を含む） ＿＿＿人

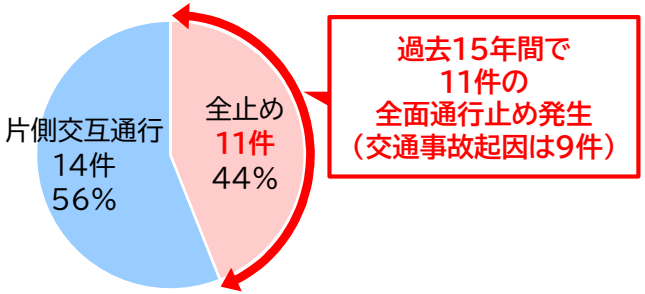
信頼性・安全性の高い道路ネットワークの確保

- ◆ 戸沢立川道路の並行現道は、平成20年8月の大雨による土砂流出が発生するなど防災面に課題があることに加え、急カーブの連続や冬期の堆雪による幅員狭小、路面凍結等により走行環境が悪化するなど走行安全性にも課題が存在。
- ◆ 過去15年（平成23年～令和7年）で交通事故起因9件を含む全面通行止めが11件発生。
- ◆ 戸沢立川道路の整備により、災害や事故に起因する通行止めによる広域迂回を解消し、信頼性・安全性の高い道路ネットワークを確保。

▼戸沢立川道路並行区間の通行止め・交通事故発生箇所

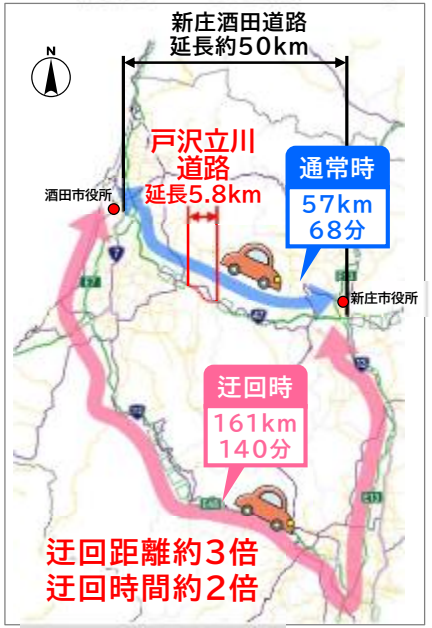


▼当該区間の通行規制の状況



出典：国道47号　通行止め履歴（H23～R7）

▼国道47号通行止め時の迂回路



出典：
令和3年度
全国道路・街路交通情勢調査
［昼間12時間平均旅行速度
（上下平均）］
※算出区間：新庄市役所～酒田市役所
※新庄古口道路（R6.12開通区間）
は規制速度で算出

▼ 土砂流出状況（H20.8.15）



▼急カーブ、路面凍結状況（H29.1.16）



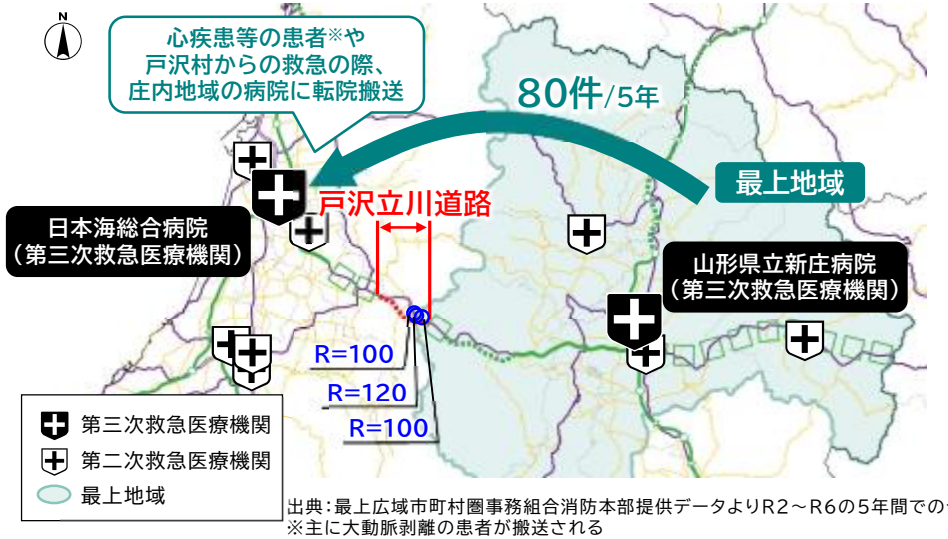
▼ 幅員狭小、堆雪状況（H29.1.17）



安定した救急搬送を支援

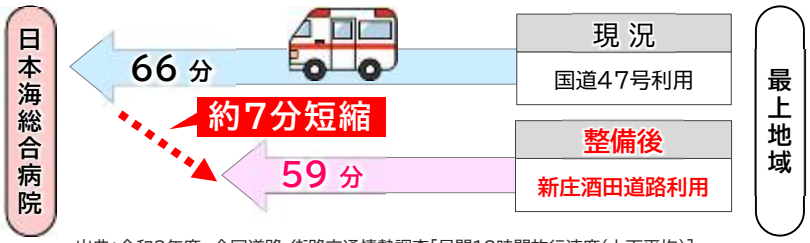
- ◆ 最上地域には大動脈剥離等の重篤な心疾患に対応できる専門医がおらず、日本海総合病院への転院搬送が5年間で80件発生。
- ◆ 搬送ルートとなっている戸沢立川道路の並行現道は、線形不良箇所（R＜150m）が複数存在する上、冬期には路面凍結や堆雪による幅員狭小が生じ救急車両の円滑な走行が困難となるなど、救急搬送時の走行性・安定性に課題。
- ◆ 戸沢立川道路を含む新庄酒田道路の整備により、最上地域から第三次救急医療機関への搬送時間短縮や搬送時の走行性・安定性が向上し、傷病者の負担軽減に寄与することが期待。

▼最上地域から日本海総合病院への搬送状況（R2～R6）



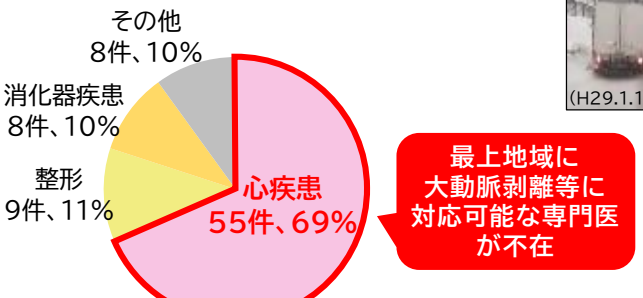
出典：最上広域市町村圏事務組合消防本部提供データよりR2～R6の5年間での合計件数
※主に大動脈剥離の患者が搬送される

▼最上地域～日本海総合病院間の所要時間



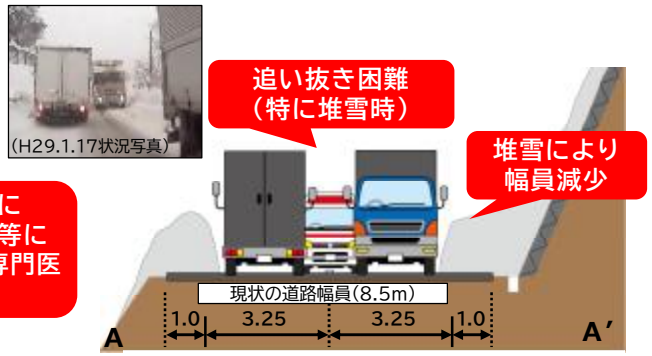
出典：令和3年度　全国道路・街路交通情勢調査[昼間12時間旅行速度（上下平均）]
※算出区間：新庄市役所～日本海総合病院
※現況：新庄古口道路（R6.12開通区間）は規制速度で算出
※整備後：戸沢立川道路、高屋道路、高屋防災、新庄古口道路（R6.12開通区間）は規制速度で算出

▼疾患別の最上地域から庄内地域への転院搬送内訳（R2～R6）



出典：最上広域市町村圏事務組合消防本部提供データ

▼当該区間の道路断面イメージ



※路肩（両側1mずつ）に堆雪し、大型車どうしが両車線にいた場合
救急車両が追い越し困難

【消防本部の声】

- ○山形県立新庄病院が第三次救急医療機関となった後も、心疾患の患者の場合は日本海総合病院に専門医がいるため搬送しています。
- ○冬期夜間は路面の轍が見えづらく、心疾患の患者の場合、揺れなどに気を使うので、隊員の疲労も蓄積しやすい。
- ○道路幅が狭く、急カーブ、交通量も多く、特に冬期間の路面凍結や積雪により、救急搬送時間が長くなり、傷病者や同乗している家族、医師（転院搬送）の負担となっている。
- ○新庄酒田道路の整備により救急搬送時間が短縮、急カーブによる傷病者への負担も軽減され、より安全な救急搬送が期待できます。



出典：R6.12、R7.6、R7.10 ヒアリング調査

地域の観光振興を支援

- ◆ 酒田港へのクルーズ船(外国船社運航)寄港は毎年増加しており、新庄酒田道路は最上地域へのツアールートとして利用。
- ◆ クルーズ船のオプショナルツアーは移動時間の目安がおおむね90分程度とされており、新庄酒田道路の整備により、国際観光資源である銀山温泉などを含めた新たな立寄り先の選択肢拡大に期待。
- ◆ 戸沢立川道路を含む新庄酒田道路の整備により、最上・庄内地域間のアクセス性が向上し、地域観光のさらなる振興を支援。

▼酒田港寄港クルーズ船のオプショナルツアー来訪箇所



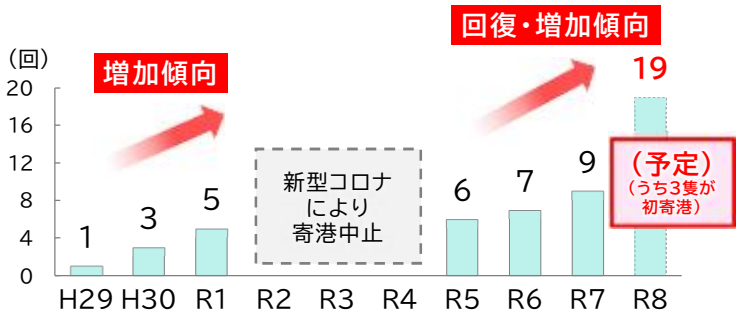
新庄ふるさと歴史センター

最上川舟下り

※R5.4.14撮影

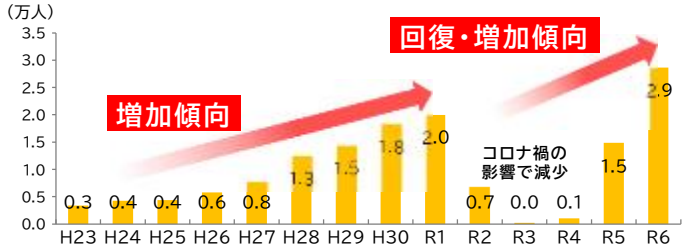
出典:令和3年度　全国道路・街路交通情勢調査[昼間12時間旅行速度(上下平均)]
※現況:新庄古口道路(R6.12開通区間)は規制速度で算出
※全線開通後:戸沢立川道路、高屋道路、高屋防災、新庄古口道路(R6.12開通区間)は規制速度で算出

▼酒田港のクルーズ船(外国船社運航)寄港数



出典:酒田市ホームページ、国土交通省(R8.5.31時点寄港予定)

▼最上地域の外国人観光客数(万人)



出典:山形県観光統計(観光客数:年度、外国人観光客数:年単位)

【銀山温泉】

○米有力旅行メディア「ナショナルジオグラフィック」が選ぶ「世界の旅行先25選」に国内から唯一、山形県が選出され、「銀山温泉」が紹介されている。

【旅行関係団体の声】

○クルーズ船のオプショナルツアーでは、90分程度が移動時間の限度。道路が整備されれば立ち寄り先が拡大する可能性がある。

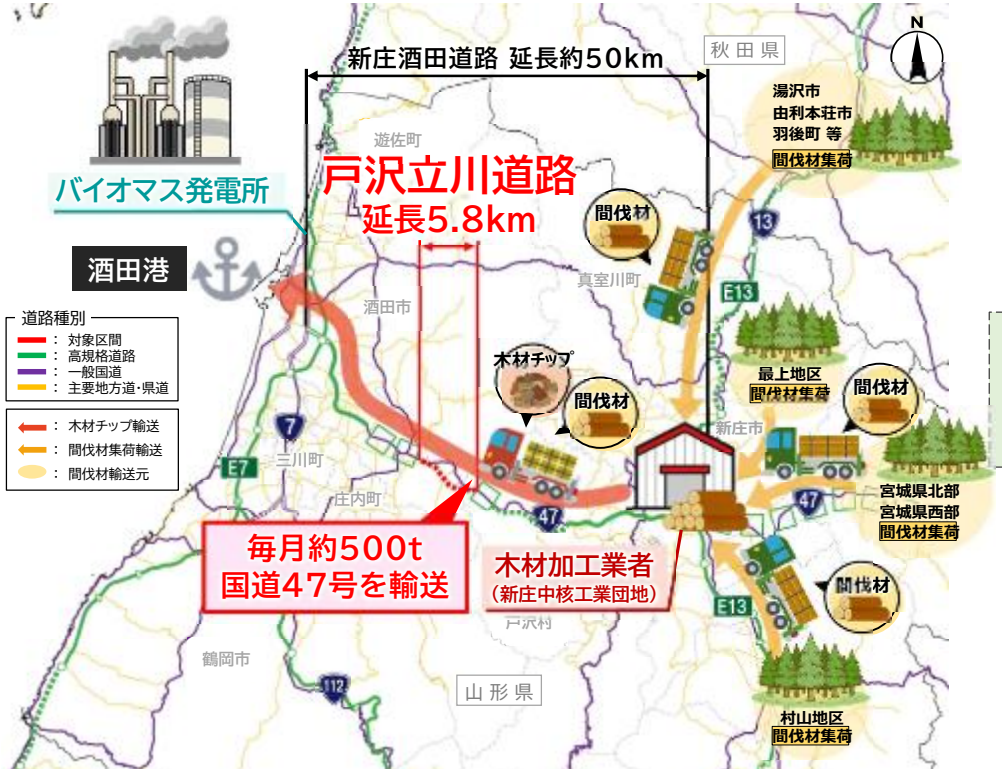
出典:R7.10　ヒアリング調査



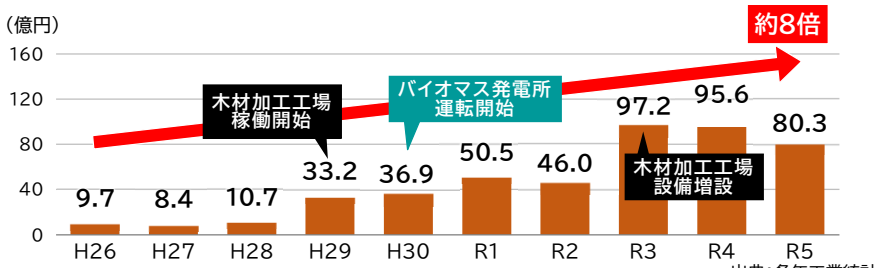
地域産業を支える安定した物流ネットワークの確保

- ◆ 新庄中核工業団地に木材加工工場が進出(平成29年)し、新庄市の木材・木製品製造業出荷額は大幅に増加。
- ◆ 山形県では、「やまがた森林ノミクス推進条例」のもと未利用間伐材等の有効利用を推進しており、新庄市の木材加工業者で間伐材等から製造された木材チップは、酒田港の県内最大級のバイオマス発電所へ国道47号を利用して輸送。
- ◆ 戸沢立川道路を含む新庄酒田道路の整備により、最上・庄内間の物流網を強化し、木材・バイオマス等の産業を支援。

▼木材チップの主な輸送ルート



▼新庄市の木材・木製品製造業 出荷額(過去10年)



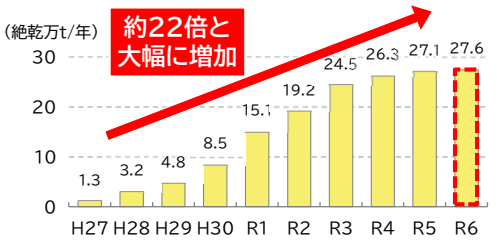
出典:各年工業統計

▼やまがた森林(もり)ノミクス推進条例

未利用間伐材等の有効利用の促進(第15条)	**未利用間伐材等の有効利用を促進**するため、**木質バイオマスの利用**又は当該利用のための**加工施設の整備**や、**木質バイオマスの熱利用**や新たな活用分野への利用の推進に係る情報収集及び提供等の施策を講じることとする

出典:山形県HPより抜粋

▼木質バイオマス利用量(木材チップ)



出典:農林水産省(木質バイオマスエネルギー利用動向調査)

大型製材工場や県内各地に整備されたバイオマス発電施設の稼働により大幅に増加

県内に木質バイオマス発電施設8カ所
(令和6年12月末時点)

酒田港の木質バイオマス発電所
出力50,000kWで県内最大規模

【木材チップの製造過程】

○チップに加工



○トレーラーに積込み出荷



○バイオマス発電所(稼働中)



出典:H30.7、R4.10 ヒアリング調査より作成

【木材加工事業者の声】



○新庄工場から酒田港にあるバイオマス発電所に、国道47号を利用して、木材チップを毎月約500t運んでいます。

○新庄酒田道路の整備により、新庄工場から酒田港への安定した輸送が可能になると考えています。

出典:R6.9 ヒアリング調査